

文化や言語 国際交流

上諏訪小 台湾スカウト連盟が来校

諏訪市上諏訪小学校に16日、台湾スカウト連盟の関係者8人が訪れた。日本のスカウトや子どもたちとさまざまな



台湾国旗の3色に込められた意味を
教えてもらう上諏訪小学校の4年生

な交流事業を行う同連盟の研修旅行として来校。同校4年生57人と楽しく日本語で交流し、台湾の文化や言葉などを伝えた。

同連盟では、交流事業のためにスカウトリーダーらが3年ほど前から日本語の勉強をしてきたという。今回、リーダーに日本語で教える体験をしてもらうと、国際関係委員会委員の李佳恵さんと親交のある手長神社(同市)の前島正宮司を通して同校に相談して実現した。

交流は学級ごと2回に分けて行った。グループに分かれて互いに自己紹介をした後、児童らはリーダーから台湾国旗の3色に込められた意味や中国語のあいさつなどを学ん

だ。このほか、台湾の伝統的な踊りも教えてもらい、みんなで楽しみながら台湾の文化に触れた。

宮坂一誠君(9)は「家族旅行で台湾に行った時は言葉が分からなかったのですが、教えてもらって良かった。楽しかったですし、また台湾に行ってみたいと思った」と笑顔。李さんは「子どもたちと仲良くなれてうれしい。ぜひ台湾に親しみを持ってもらえたら」と話した。

(山本雄太)